

地域再生計画
 地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「着地型旅行関連ビジネスの創出」による地域再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

西臼杵郡 高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

3 地域再生計画の区域

西臼杵郡 高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の全域

4 地域再生計画の目標

4 - 1 本地域産業の現状と動向

宮崎県西臼杵地域は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の3町で構成され、山間地に位置する地理条件などから就業環境に恵まれず、平成18年現在の圏域の人口（表-1）は約2.5万人で、この30年間で約1万人減少している。

雇用情勢は、有効求人倍率（表-2）が過去3カ年間、年度平均で0.42倍から0.59倍を推移し、全国的にも低い本県でも一段と低い地域である。

分野別では、基幹産業である農林業が伸び悩み（図-1）、高齢化や後継者不足と相まって経営基盤である労働力の確保が課題となっている。また、公共事業縮減（図-2）の影響を受けて建設業の雇用枠が縮小し、平成11年の1,200人から平成16年には約900人にまで建設事業従事者は減少している。

表-1 地域の人口(平成18年10月1日現在)ならびに
 就業者人口(平成17年度 国勢調査報告)

市町村名	人口(人)	就業者(人)
高千穂町	15,029	7,637
日之影町	5,245	2,599
五ヶ瀬町	4,996	2,313
計	25,270	12,549

表-2 有効求人倍率の推移(年度平均)

	平15	平16	平17	平18
本地域	0.27	0.42	0.51	0.59
県全体	0.53	0.62	0.61	0.70
全国	0.69	0.86	0.98	1.06

図-1 農家戸数と就業人口の推移

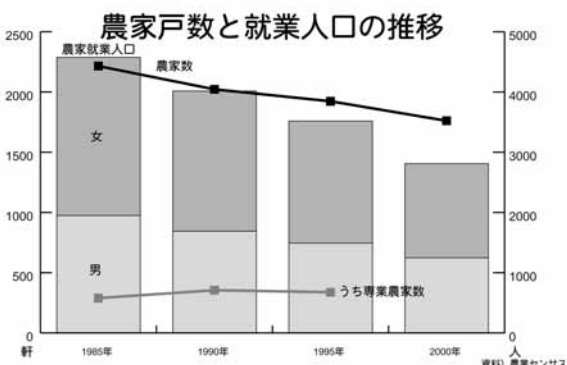
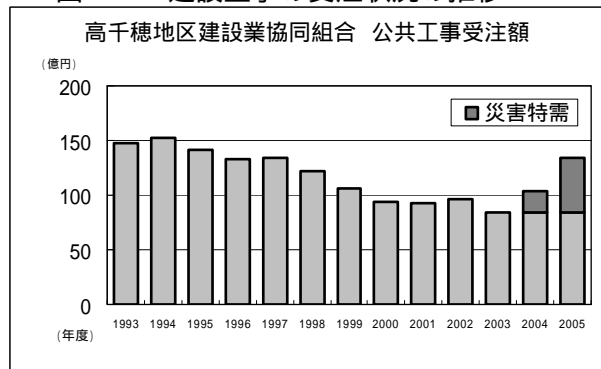


図-2 建設工事の受注状況の推移

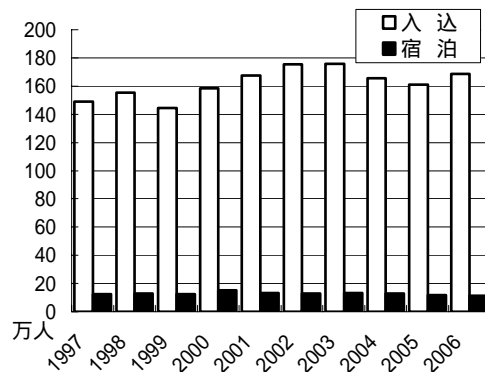


地域再生計画

この様な地域の現状と課題の解決に向けた地域ニーズの把握を行うため、平成18年度に実施した雇用創造調査研究事業（厚生労働省委託事業）では、①産業連携・広域連携の強化 ②優位産業の利を活かした事業革新 ③付加価値の創出 ④若い起業家と地元企業の育成などの地域活性化に向けた視点・戦略が示された。

これを受け、地域では最重要課題である雇用問題に取り組むため、行政と経済団体による協議会を立ち上げ、地場産業を相乗的に活性化させ雇用創造を図る観点から、約170万人（図-3）が訪れる旅行分野に着目、「旅行ビジネスとその関連産業」を重点分野に掲げ ①観光関連事業を担う人材の育成 ②重点分野における創業支援 ③農林業分野の就業・創業支援 ④既存産業の事業力強化 ⑤求職者等への就職支援の取り組みを行う地域再生のための計画を策定した。

図-3 観光客総数の推移



4-2-1 旅行関連産業に係る動向

本地域における年間旅行客数は約170万人前後で推移している。しかし、宿泊者数は平成4年度の19万人台をピークに13万人台に減少（平成17年度）し、通過型観光の傾向が一段と強くなっている。

本地域では、観光経済を活性化するため以下のような新たな取り組みを始めている。

高千穂町では、交流ビジネス・供給ビジネスの相乗的な活性化をめざし地域再生マネージャー事業を実施。日之影町では豊かに保全された自然環境を保養や健康増進ビジネスに活用する森林セラピー事業に着手。五ヶ瀬町では日本最南端のスキー場開設をはじめワイナリーや農村民宿など交流促進をめざすグリーンツーリズムのフィールド整備を図り、旅行関連の地域振興基盤を充実してきたところである。

その他、食や工芸などの伝統文化や技術の掘り起こし、地域資源の付加価値向上に向けた取組など、旅行関連産業の活性化につなげる独自の取り組みを行っている。

4-2-2 旅行産業の今後の見通し

今年5月に改正旅行業法が施行になり、着地型旅行業の展開が可能になったことから、地域自らが旅行商品の企画や販売を行う旅行事業基盤の充実を図る動きがある。

この中では、従来旅行と関わりが弱かった農林業や製造業などとの連携を強化し、飲食や物産販売など旅行関連産業を活性化するとともに、生活文化や生産活動などを体験

地域再生計画

・交流事業に活かすことなどをめざしているが、旅行者の満足度を高め着地型旅行業を産業活動として活性化するには、旅行商品の企画・販売などに関わる組織や人材、体験等のサービス提供など、旅行現場を担う人材等の確保も必要となっている。

今後、九州新幹線の全線開通などを見据えて①阿蘇などとの連携強化のための交通ネットワーク等の充実、②行動エリアや旅行メニューの拡大に必要なビジネスの創造、③人材・組織の育成、④物販や飲食・宿泊など、旅行事業を支える農畜産業や加工業など旅行関連産業の育成を図る方向である。

4 - 3 将来ビジョン

本計画は、地域に密着した質の高い旅行企画による「着地型旅行ビジネスの創出」と「関連産業の育成」をめざし、従来の旅行事業より細やかで多様な旅行サービスを提供する人材とビジネスを育成し、旅行産業全体の受け入れ態勢を充実拡大することで産業の振興と雇用拡大を図るものである。

各自治体独自の取り組みでは地域間競争や差別化を図っていく上で限界があることから、人気の高い旅行資源や森林セラピー、グリーンツーリズムなど特徴的な取り組みを広域的に連携充実させ、旅行ルートや体験ツアーなど旅行商品の開発、旅行介助や案内など旅行形態の多様化に対応するサービスの提供、食や交通・物販など旅行ニーズの受け皿となる関連商品やサービスを事業化することで、新規の旅行者やリピーターの拡大を図り、旅行消費額の増大と関連産業の活性化による雇用の創出をめざす。

計画の実現には人材の育成、組織づくりが必要なことから、地域再生に資する適正な支援策を講じて人材や事業を育成し、着地型旅行ビジネス創出と関連産業再生・雇用創造による地域活性化を図るものである。

4 - 4 ビジョンの具体化に向けた地域再生計画と目標

将来ビジョンで示した広域連携による着地型旅行関連ビジネスの創出で、地域再生計画の目標を達成するため、以下に掲げた課題の解決を図るものである。

① 旅行者の移動手段となる交通サービスの整備

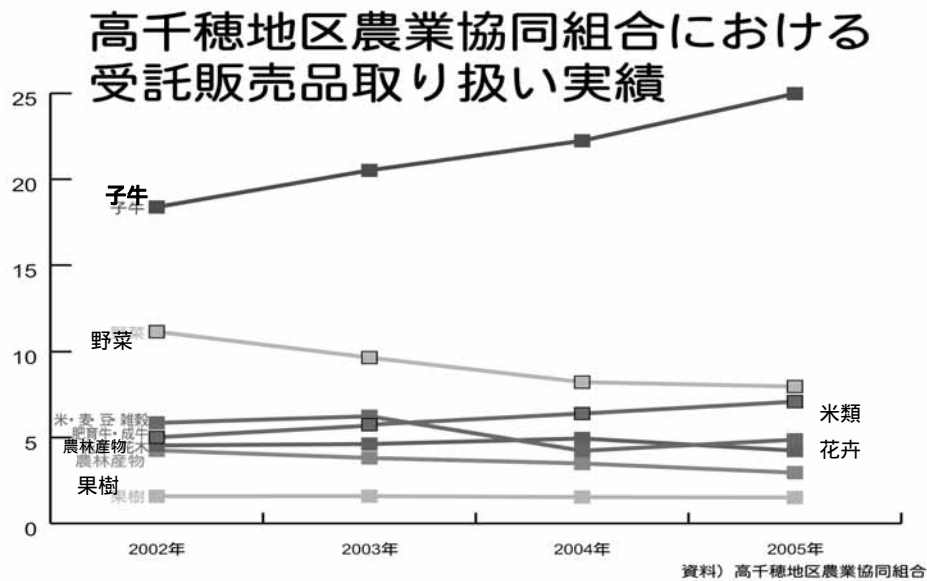
熊本空港や阿蘇地域など、交通拠点からのアクセスや九州中央部観光地との回遊交通網の整備と、マイカーに並ぶ、手軽で自由度の高い域内交通手段の確保。並びに、平成17年に営業を休止した高千穂鉄道（TR）に代わる交通手段の整備。

② 飲食産業の充実と地産食材の確保

旅行者の様々な食ニーズ（健康や美容、障害者や高齢者）に即した食の提供に係わる人材の育成、起業家支援。

地産食材として強化を図っている高千穂牛の生産（図-4）について、増頭や資質向上、販売力強化につながる経営技術をもった人材の育成、安定供給に不可欠な生産体制の構築。

図 - 4 : 農作物の生産状況 (単位:億円)



③ 地域資源を活用した加工産業の育成

地域製品の付加価値向上に向け、加工技術やマーケティング、販売戦略などの経営力強化を図り、加工産業の市場開拓や雇用拡大につなげる。

④ もてなしビジネス、体験や学びの旅行商品の開発と活用

文化・歴史などをテーマに地域に招く旅を案内や宿泊施設の提供により、旅行サービスに事業化する専門的知識の修得と人材育成。

体験学習型の修学旅行や一般旅行ニーズに対応する体験プランの企画・販売を担う組織やインストラクターなどの人材育成。

⑤ 介助、ホスピタリティービジネス応用分野の育成

高齢者や障害者の旅行に、介助や介護技術を伴った旅行サービスを行うサポートビジネスを担う人材の確保や技術の習得。

また、森林セラピー事業では、森林療法などセラピーメニューの開発、人材育成。

⑥ 観光と他産業との連携

産業景観としての農村風景や農産物の生産現場など、着時発信情報の活用による観光と他産業との連携促進を図る事業ノウハウの習熟。

地域再生計画

なお、計画期間（平成22年度）終了後に目標達成状況を評価するための定量的な指標をつぎのように掲げる。

- ① 旅行者の移動手段となる交通サービスの充実
指標項目：新規の交通事業
数値目標：鉄道事業 1 2次交通（空港アクセス等）事業 1
域内移動サービス事業1
- ② 飲食産業の充実と地産食材の確保
指標項目：新規開店店舗数
数値目標：10店舗
指標項目：高千穂牛生産増頭数
数値目標：100頭
- ③ 加工産業の育成
指標項目：製造業への新規就業者数（食料品・飲料）
数値目標：15名
- ④ もてなしビジネス、体験や学びの旅行商品の開発
指標項目：旅行業の開設
数値目標：1社
指標項目：宿泊施設開業数
数値目標：10軒
指標項目：インタープリター育成数
数値目標：10名
指標項目：マイスター育成数
数値目標：20名
指標項目：インストラクター育成数
数値目標：10名
- ⑥ 介助、ホスピタリティービジネス応用分野
指標項目：トラベルヘルパー育成数
数値目標：10名
- ⑦ 観光と他産業との連携
指標項目：地場産品提供の宿認定数
数値目標：20軒

4 - 5 雇用創造目標

また、目標を達成するために行う事業のうち地域雇用創造推進事業の実施による雇用創出の状況を評価するための定量的な指標をつぎのように掲げる。

- | | | | | | | |
|---|--------|-----|-----|----------|---------|------|
| ① | 平成19年度 | 21人 | （常雇 | 6人、常雇以外 | 12人、創業者 | 3人） |
| ② | 平成20年度 | 25人 | （常雇 | 8人、常雇以外 | 13人、創業者 | 4人） |
| ③ | 平成21年度 | 27人 | （常雇 | 8人、常雇以外 | 13人、創業者 | 6人） |
| | 合計 | 73人 | （常雇 | 22人、常雇以外 | 38人、創業者 | 13人） |

5、目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

将来ビジョンの実現に向けて、「地域再生マネージャー事業（高千穂町）」、「森林セラピー基地整備事業（日之影町）」、「グリーンツーリズム基盤整備事業（五ヶ瀬町）」など、3町で実施している着地型旅行業のビジネス基盤づくりと併せて、事業推進に必要な人材の育成や産業力強化の面から地域雇用創造推進事業を実施する。

「食」や「宿泊」「交通」といった旅行インフラの整備、「体験や学び」「案内や介助・セラピー」などの旅行サービス、関連する物販や農業、製造業等に関わる中核人材や専門的能力を持った人材育成と併せて、既存企業や事業者のビジネス能力向上、新規創業希望者に対する能力開発と創業支援を行い、地域資源を地域自らビジネスとして有効活用する着地型旅行サービスの充実に努め、産業再生、雇用拡大をめざす計画である。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 地域雇用創造推進事業(新パッケージ事業)厚生労働省【B0902】

(※新パッケージ事業の実施期間は、平成19年度から平成21年度の3ヶ年とする)

旅行業法の改正で、いわゆる着地型旅行業の展開が可能になったことから、地域独自の旅行商品の企画や造成・販売を行う事業環境を整備する事業で、事業推進に必要な人材の育成や産業力強化を図る。

高千穂牛の販売強化など、従来、旅行と連携性の弱い農業や加工業との連携を強化し、食事や物産・土産など旅行の魅力向上につながる部門を充実するとともに、生活文化や生産活動、自然環境などを体験・交流プログラムとして活かす事業を計画している。

さらに、旅行の企画・販売、手配やセールスプロモーションなどに関わる組織や人材、旅行現場を担うマイスターやインストラクターなど、旅行関連事業の運営に必要な様々な分野の人材育成を行う。

本事業は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、高千穂町商工会、日之影町商工会、五ヶ瀬町商工会、高千穂町観光協会、日之影町観光協会、五ヶ瀬町観光協会、高千穂地区農業協同組合、高千穂地区建設業協会、西臼杵森林組合、宮崎県産業支援財団などの官民で構成される「西臼杵郡雇用拡大協議会」が実施する。

(以下、支援措置を利用し実施する事業)

I 雇用拡大

(1) ビジネス能力開発

事業主、経営者を対象に既存事業のブラッシュアップをめざし、経営に関する講習を行い、具体的ノウハウの付与による雇用促進のための経営支援を行う。

II 人材育成

農畜産と食関連事業、「体験・交流」の旅行商品、交通や介助等の「旅行サービス」など旅行関連ビジネス分野で、求職者や創業希望者を対象とした専門知識や技術の修得を行う事業。

(1) 「飲食産業」分野の人材育成

健康や美容、障害者や高齢者など異なる旅行者のニーズに即した食の提供に

地域再生計画

向け、生産者との連携や地域食材の活用、旅行ニーズと食の動向、調理やサービスに関する知識や技術の習得を図る。

(2) 「加工産業」分野の人材育成

自主的な開発が行われている製品に焦点を絞り、商品開発や販売チャンネルの獲得方法に関する技術指導を求職者や創業希望者、加工事業者や農産品の生産・加工者グループなどを対象に実施する。

(3) 着地型旅行をサポートする人材育成

体験型修学旅行や一般の体験型旅行の実践・運営に関わる人材、「宿泊」や「交通」といったインフラをサービスする組織の創業やサービスを担う人材の育成を目的に、専門機関や先進地からの講師派遣による講習会や派遣学習を実施し、必要な知識・技術の習得を図る。

また、旅行商品開発・造成、販売を担う組織の創業・就業にむけ、プロデュース能力やマネジメント能力をもった人材を育成するため、着地型旅行業の運営に係わる先進地研修を行う。

(4) マイスターの育成

地域のもつ歴史や文化、自然環境などを旅行商品として活用するための専門人材（マイスター）育成、資格認定を行う。

また、障害者や妊婦、高齢者などの旅行をサポートするため、介助・介護の基礎知識を修得したトラベルヘルパーの育成を行う。

(5) 高千穂牛（畜産業）の生産に関わる人材育成

高千穂牛の安定供給に不可欠な生産体制を築くため、増頭や多頭飼育、良質牛生産につながる畜産技術講習や実務研修を行い、新たな創業や、建設産業などからの新規参入・雇用移転も含めた人材育成を図る。

Ⅲ 就職促進

(1) 情報受・発信事業

雇用促進に向けた相談窓口の開設。

当該事業に関する情報誌の発行などを通して、求人情報の収集・提供、新パッケージ事業の趣旨や事業プログラムの情報提供・参加啓発を行う。

(2) 人材マッチングの促進

就業希望者を対象に、圏域内の企業との重点分野に特化した就職セミナー・就職面談会を実施する。

5 - 3 - 2 関連事業

① 地域再生マネージャー事業

高千穂町では、全日空グループと提携し、観光・交流事業の拡大、生産・加工、流通・販売分野の産業育成を目的に、滞在型・体験型旅行商品の造成、地域製品の開発や販売促進に関する事業などを、全日空派遣（常駐）のマネージャーを中心に実施している。

② 森林セラピー基地整備事業

日之影町では滞在保養型の旅行者誘致を促進するため、森林のもつ「癒し効果」を科学的なエビデンスに基づく健康増進やリハビリテーションに活用する森林セラピーの基地整備を進めている。

③ 五ヶ瀬町におけるグリーンツーリズム事業

五ヶ瀬町では、農村資源を活用した都市交流をめざすグリーン・ツーリズムの拠点形成を総合的に推進し、農村民宿やワイナリー、スキー場の整備や組織育成などを進めている。

6 計画期間

認定の日から平成23年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7 - 1 新規事業の創出及び雇用数等の統計調査

本計画は、達成状況を評価する数値目標として、新規事業の展開や旅行関連企業等への雇用数等を掲げ、計画期間終了後に関係分野の統計調査を実施し、達成状況を評価する。

7 - 2 顧客満足度調査

本計画で開発する新たなサービスや旅行商品に対する評価を定量的に把握するため顧客満足度調査を実施する。

7 - 3 地域雇用創造推進事業について

地域雇用創造推進事業構想に明記した、アウトプット指標、アウトカム指標の達成状況の把握により、事業効果に対する評価を行う。

8 地域再生計画実施に関し当該公共団体が必要と認める事項

該当なし